GISを活用した情報の授業

茨城県立並木高等学校 齊藤 達也

本日の発表内容

- 並木高校概要
- IT環境+GIS利用環境
- 並木高校における情報の授業
- GISを活用した情報の授業実践
- どのような情報の授業を目指すか。

並木高校概要

全日制普通科 8クラス/学年 比較的新しい進学校(1984年創立) 来年度から6年一環の中等教育学校へ移行





ICT環境

- 普通教室24室 デスクトップPC、天吊りビデ オプロジェクタ+スクリーン
- 特別教室7室 ビデオプロジェクタ、PC
- PC教室 生徒用PC47台(Windows2000)
- LL教室 生徒用PC47台(WindowsXP)+CALLシステム
- 生徒ホール、図書室、進路室、生徒会室
- デジタルカメラ 10台、イメージスキャナ 10台、ペンタブレット 10台

ICT環境

- 校内LAN 教師用セグメント+生徒用セグメント+成績管理用セグメント全ての部屋に情報コンセントを設置
- インターネット接続 100Mbpsで茨城県教育情報ネットワークに接続
- ◆メールアカウント 全生徒・職員が持つ
- 校内LANIにおけるサービス e-Learning(英語、小論文)、おすすめリンク集(トップページ)、校内向けWebサイトなど

GIS利用環境

- ArcGIS9.0 50ライセンス(ESRIジャパン教育支援プログラム)
- 生徒PCにインストールされているGIS関連ソフトウェア

MANDARA、GoogleEarth、カシミール3D

GPSレシーバ 10台



県の研究助成事業などを利用して整備

並木高校における情報の授業

- 2004年度から開始
- 情報A(2単位を1,2年次分割履修)2007年度入学生から情報Cに
- 2年次に文系・理系クラス分け→内容に差異
- ●情報担当者2名(うち1名は専科)できる範囲でTT
- プロジェクト学習が主(教科書は適宜使用) 学校行事や進路指導などとリンク

- 筆記試験 年3回実施(問題集から出題: マーク式100問)
- 毎日パソコンコンクールに参加(6月、10月)
- 情報科導入テスト(神奈川県高等学校教科研究会情報部会作成)を実施→指導内容の検討
- ・評価 提出課題、定期試験、プレゼンテーション、相互評価、授業に参加する態度など

授業計画の概要

[1年次]

- ガイダンス(並木高校IT環境利用方法及び利用上の注意、アカウントの配布、授業の進め方)
- 電子メールの利用方法やマナー(情報の伝達)
- 情報モラル(情報の信憑性、著作権、セキュリティなど)

- 問題解決(表計算ソフトを使った実習)
- プレゼンテーションによる表現(進路研究を テーマ)
- 「私のWR2007」というテーマでWebページ作成(情報の伝達)
 - ※WR:全校生徒で1泊2日で約55kmを歩く学校行事
- 机上旅行チラシ制作(文書作成ソフトを使用)

[2年次](理系)

- ガイダンス(導入テスト、電子メール・ファイルの整理、シラバス説明など)
- 文化祭ポスター制作(文書作成ソフト)
- ファイルの形式について(情報の共有)
- 統計地図の製作(情報の表現)
- 「進路研究2007」プレゼンテーション
- Webページ制作(テーマ「私のWR2007」)
- データの圧縮・解凍、暗号化の原理
- CM制作(学校のCM)

GISを活用した授業

(社会統計地図の制作)

[授業の流れ](3.2時間)

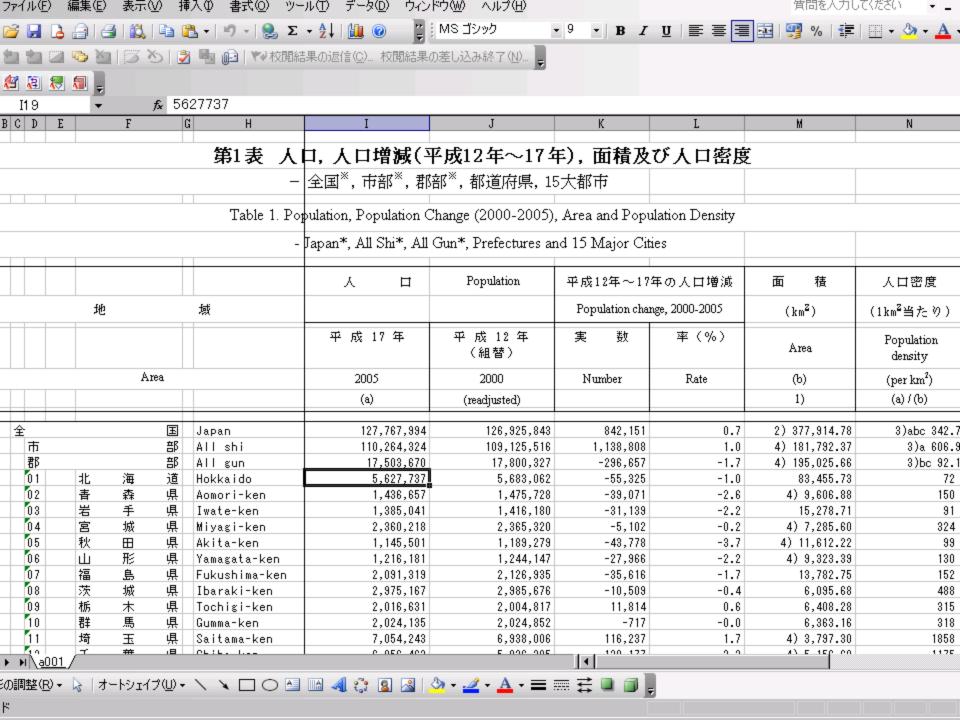
実施内容	時間配当
●授業内容の説明	1
●例題の実習: 都道府県別人口密度	
の地図の作成	
●作品制作(レポート)	2
●校内Webサーバでの作品の公開	0.2

例題実習: 都道府県別人口密度の 地図の作成

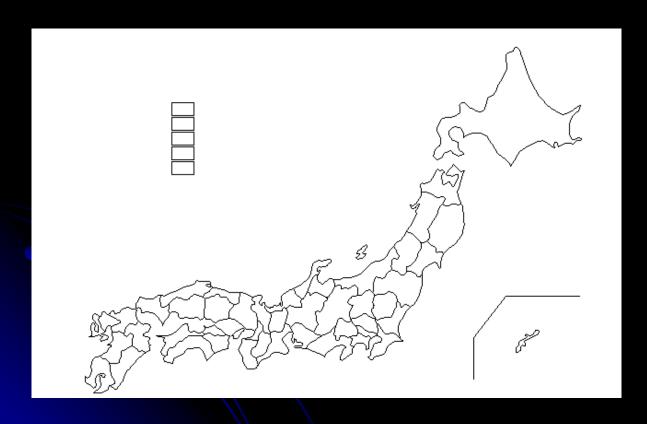
 総務省統計局のWebページにアクセス http://www.stat.go.jp/

国勢調査→平成17年国勢調査・調査結果 → 統計表一覧→<u>第1次基本集計結果</u> →全国結果・統計表→第1表(Excel形式)をダウンロード・保存

- 都道府県別データの構造の確認
- 列を挿入し、都道府県別人口と面積から人口密度を計算(人口密度もデータとして存在)



「地図を描く!」のWebページにアクセス
 http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/map/map.html
 群馬大学社会情報学部青木繁伸先生提供

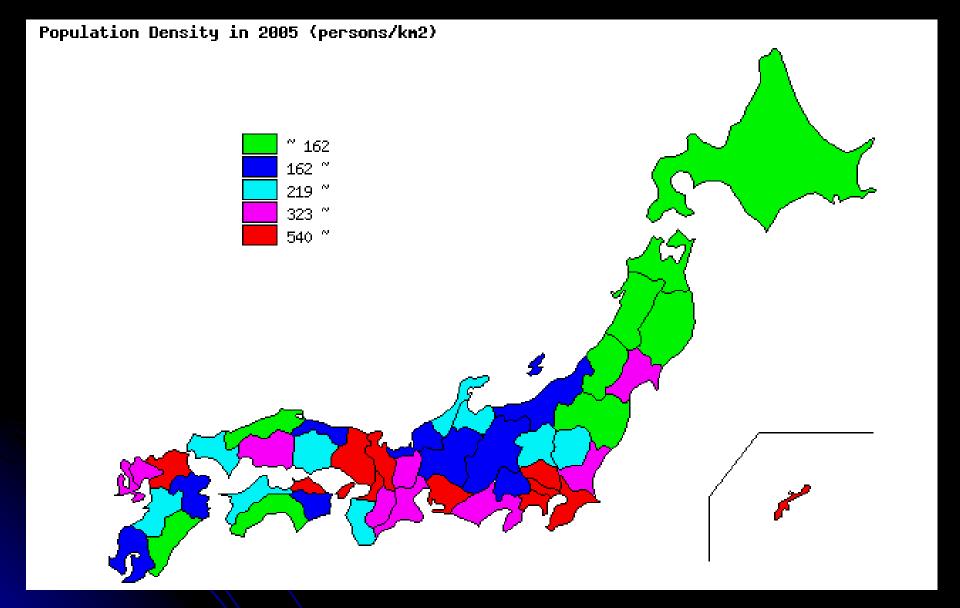


機能:

社会統計情報 (都道府県別 or各都道府県 の市町村別)を 簡単に地図化



- Excelで作成した北海道から沖縄までの 47の人口密度のデータをコピー
- 「地図を描く!」の「塗り分けに使用する 統計データ」欄にデータを貼り付け
- 地図のタイトルを入力
- とりあえず「地図を描く」ボタンを押す
- 塗り分け基準(境界値)などの調整
- 作成した地図の画像をコピー
- Wordに画像を貼り付け、レポートの作成方法を説明



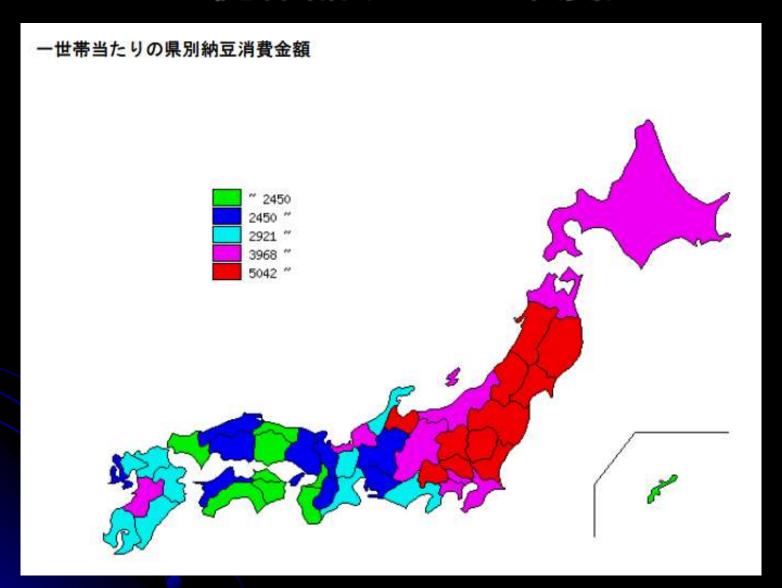
都道府県別人口密度(2005)[人/km²]

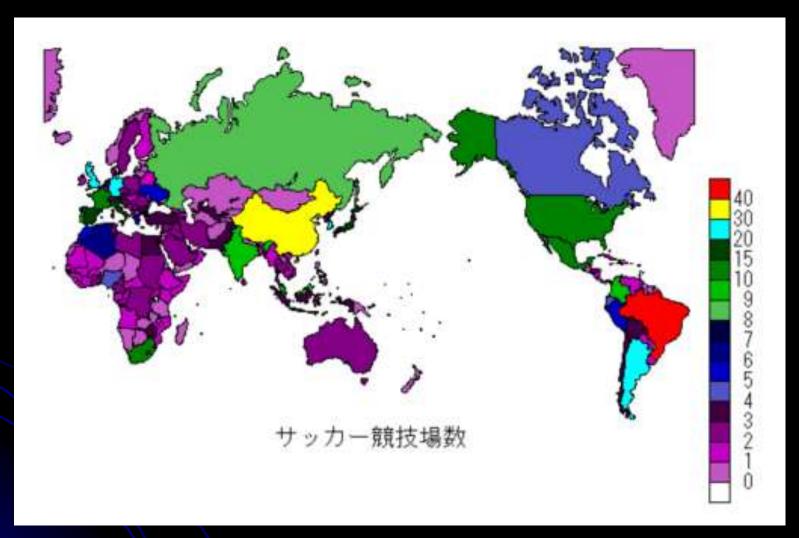
作品制作の流れ

- 作成する社会統計地図の企画
- 社会統計情報の検索
- 情報(データ)の加工
- 社会統計情報の地図化
- ・レポート作成
- 作品のpdf化 or html化
- 作品のWebサーバへの転送

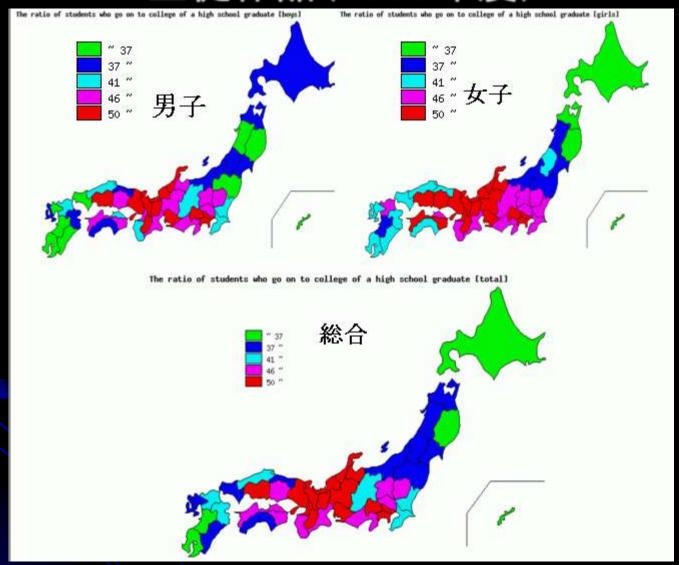
レポートについて(2007年度評価基準)

- ワード(A4縦)で作成
- 記入するべき内容
 - 1. 学年・クラス・番号及び氏名
 - 2. 地図のタイトル
 - 3. 作成しようとした意図
 - 4. データの出典・データの年
 - 5. 作成した地図
 - 6. 簡単な統計値(最大、最小、平均など)
 - 7.地図からわかること
 - 8. 感想•意見
- 〆切 : 2007年7月20日



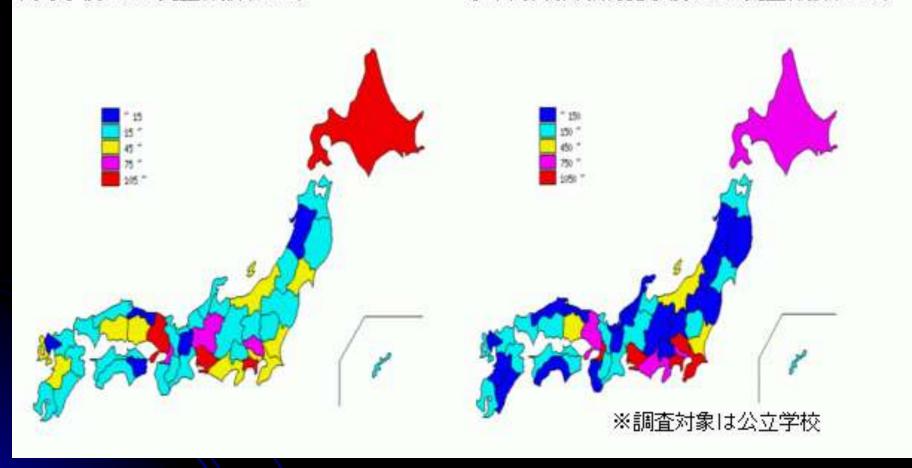


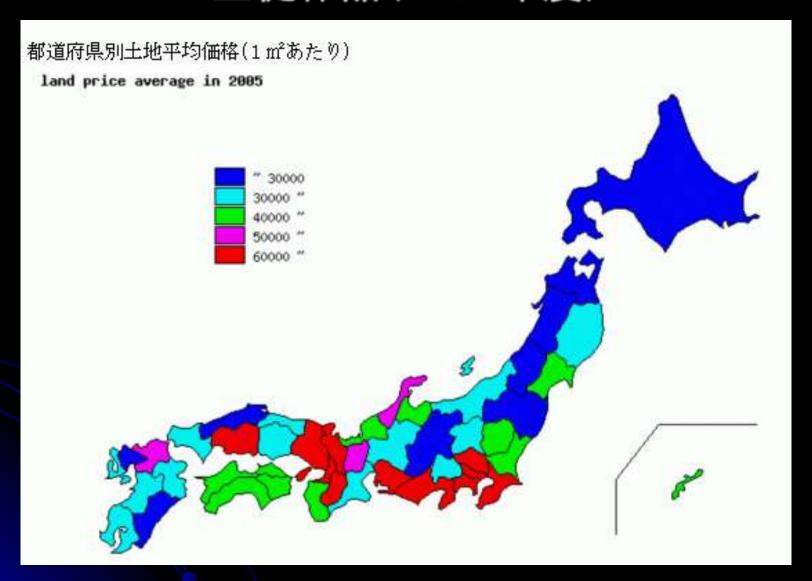
3万人以上収容できるサッカー場の数

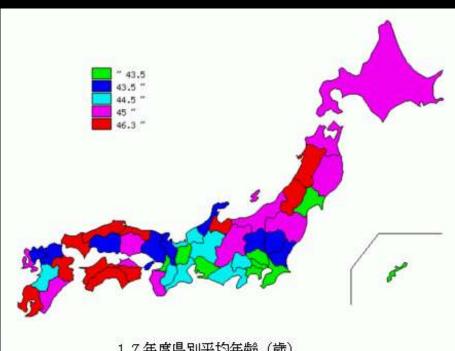


高等学校いじめ発生件数(H16)

小中高、特殊教育諸学校いじめ発生件数(H16)

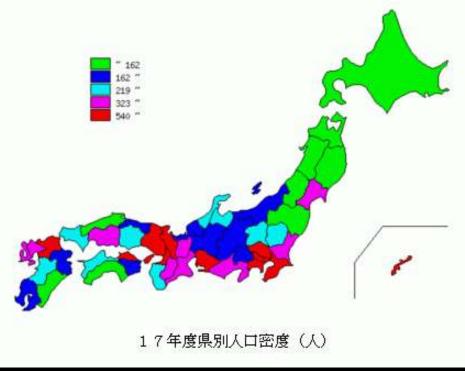




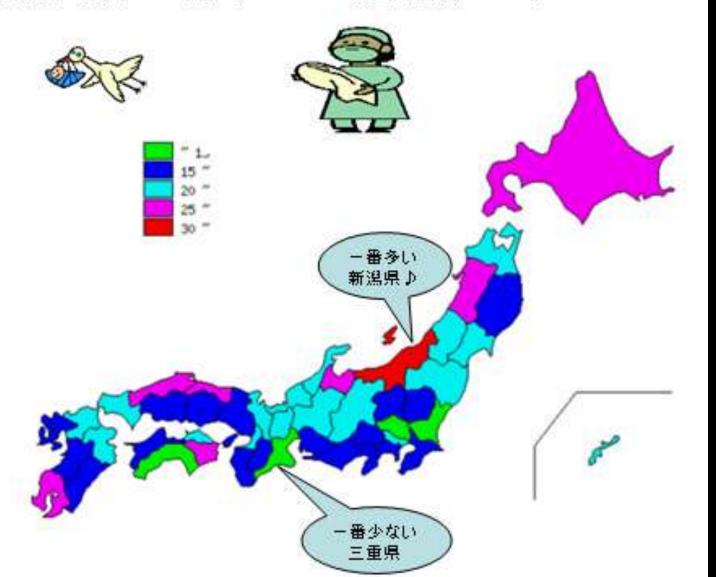


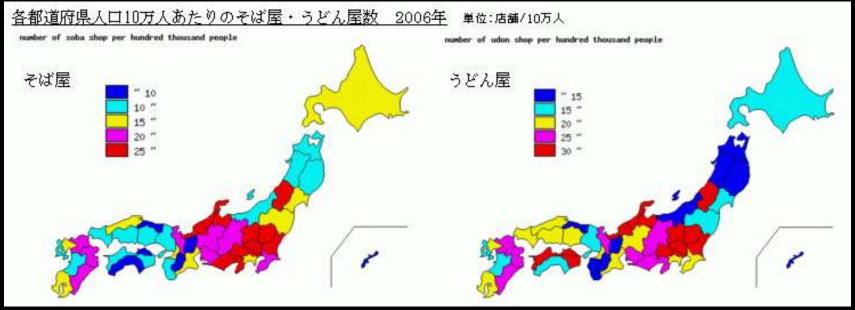
17年度県別平均年齢(歳)

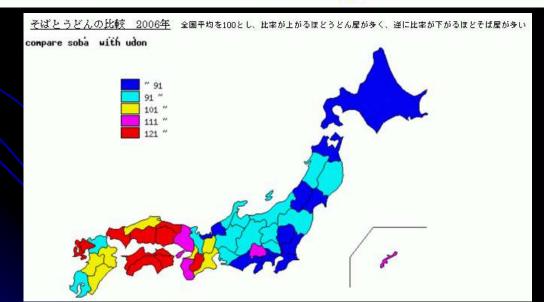
平均年齢と人口密度の比較(2005)

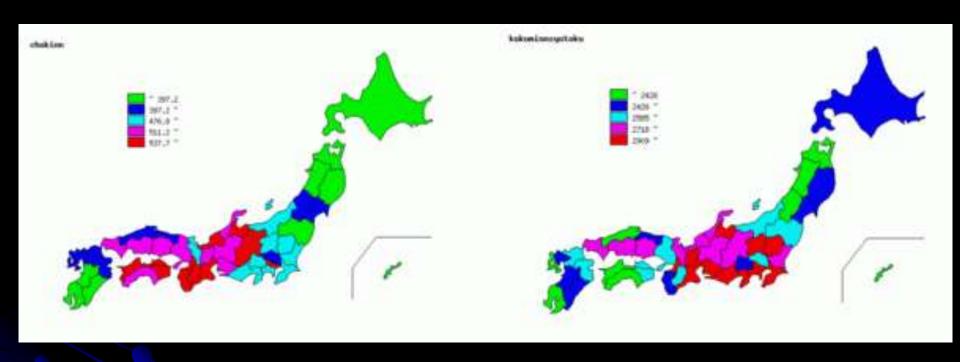


都道府県別人口10万人あたりの助産師数(2004)

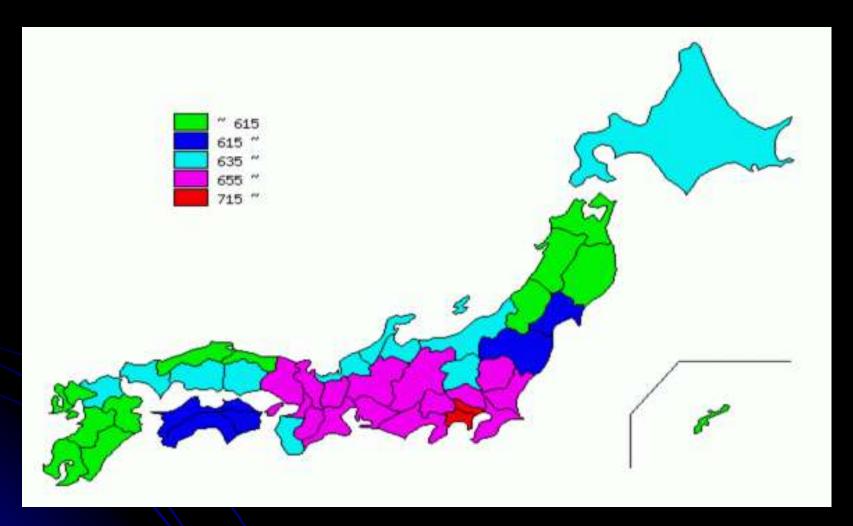




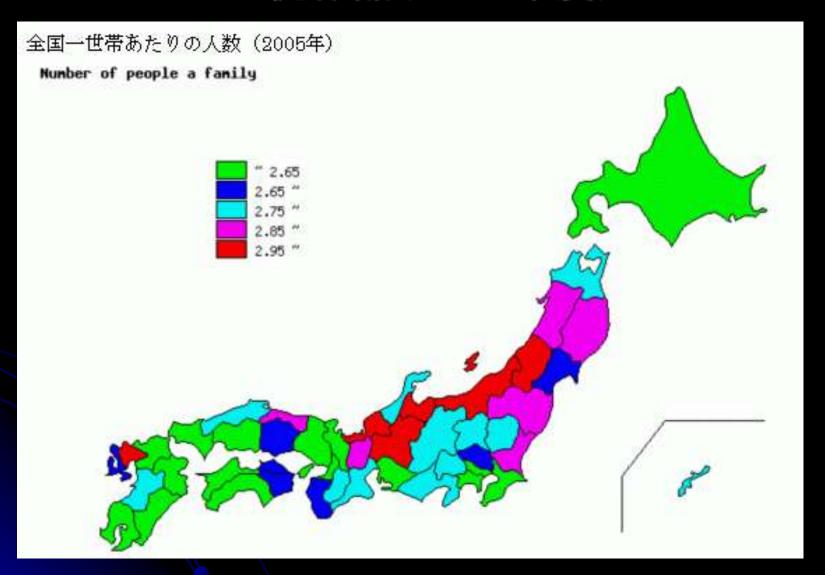




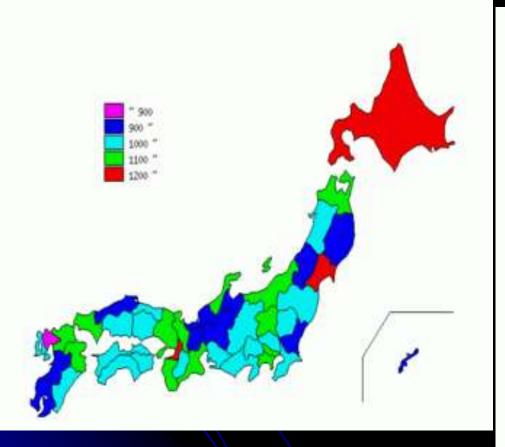
県民1人あたりの所得額と貯蓄額の比較(2003)



都道府県別一時間の最低賃金(2006)

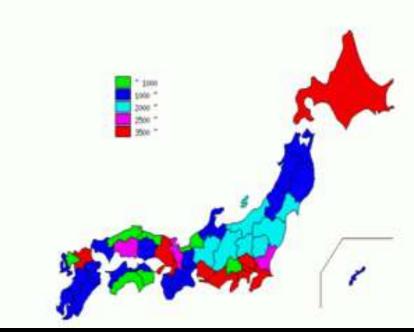


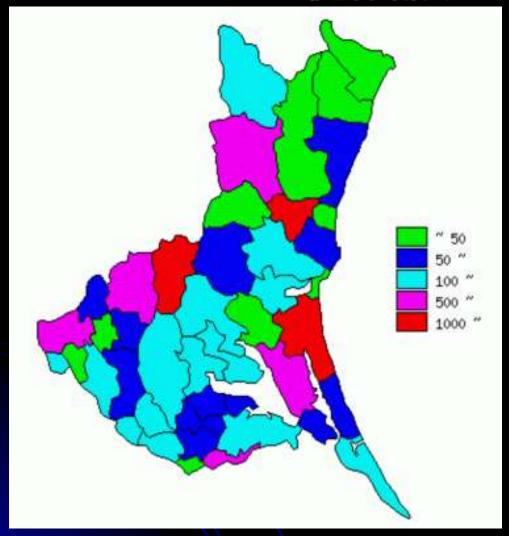
~一人一日あたりのごみの排出量~
[グラム/人日]



ゴミの排出量[g/人・日]と ゴミ計画収集人口[千人](2003)

~計画収集人口~ [千人]





統計情報:

野菜産出額最大市町村 鉾田市 2749千万円 最低市町村

利根町 9千万円

茨城県平均 287千万円

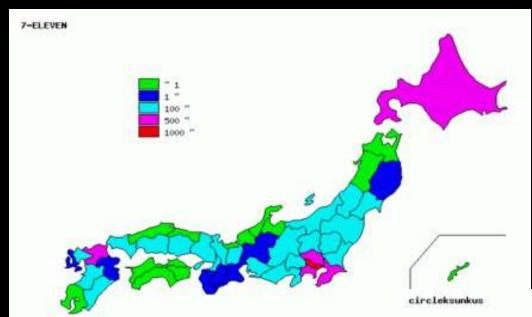
地図からわかったこと:

都市部でも野菜はそこそこ生産されている。また、県北の生産額は低い。

感想•意見:

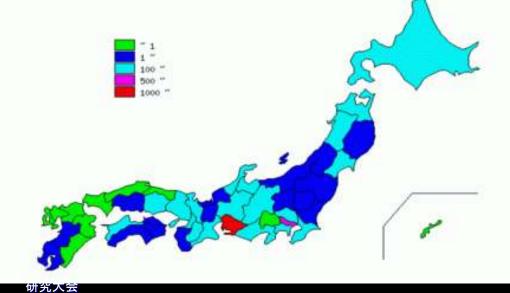
今回自分で地図を作ってみて、とても面白かったし、一人でパソコンを使って地図が作れるのは感動した。

茨城県市町村別野菜産出額(2006年)



セブンイレブン サークルKサンクス

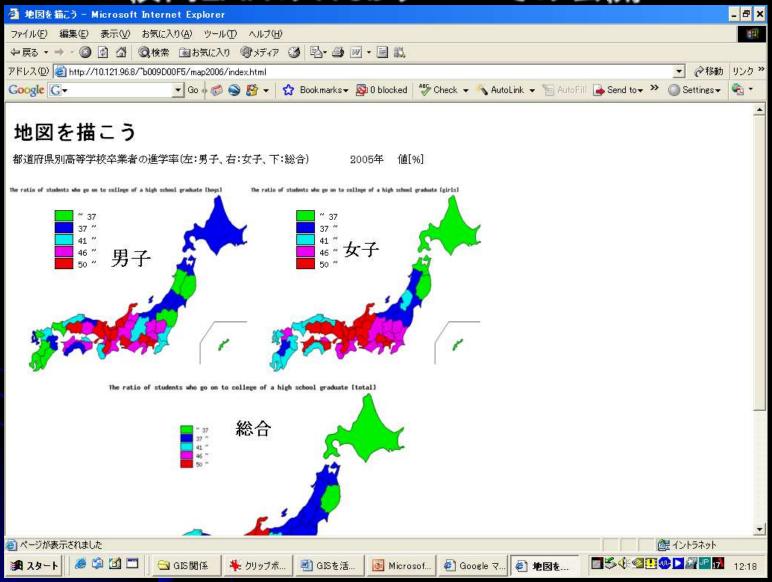
大手コンビニエンスストア セブンイレブンとサークルKサンクス の店舗数の比較(2006)



2007年8月24日

平成19年度

校内LANのWebサーバでの公開



生徒作品(2006年度)

- 都道府県別労働時間の年変化(2004vs 2003)
- 都道府県別土地の値段と一戸建ての割合 (2000)
- 都道府県別転入者数、転出者数、超過転入 者数(2006)
- 都道府県別乗用車所有台数と交通事故件数 (2003)

- 都道府県別相撲場の数(2000)
- 都道府県別携帯電話とインターネット普及率 (?)
- 都道府県別男子と女子の平均身長(?)
- 都道府県別花き生産額とパンジー生産量(?)
- 都道府県別人口、人口密度、犯罪件数の比較(?)
- 都道府県別公立小学校と公立中学校給食実施状況の比較(?)

- 都道府県別保育園と幼稚園の数の比較 (2004)
- 都道府県別森林率(2000)と可住地面積の比較(2004)
- 都道府県別道路交通事故発生数 (2003,2004)
- 都道府県別人口10万人あたりの大学数(2004)
- 都道府県別肥満率男女別(2004)

授業を終えて

- 生徒たちは、自分が興味を持ったいろいろな統計 データを集め、それを可視化(地図化)し、分析する ことができた。
- 情報検索、情報の加工、情報の表現、情報の発信という、一連の手順を経験できた。
- 興味を持って取り組むことができた。
- データの出典とデータの調査年をきちんと記載する 生徒が少なかった。(2006年度)
- データの比較において母数の違いを考えていない 生徒もいた。

おまけ(Google EarthへのMapping)

- NTT番号情報株式会社 が提供するサービスiタウンページ http://itp.ne.jp/ を利用して 興味のある業種と住所によって検索
- データを加工(Excel)
 - フィールド: 名称、電話番号、住所(郵便番号は削除)

考え方

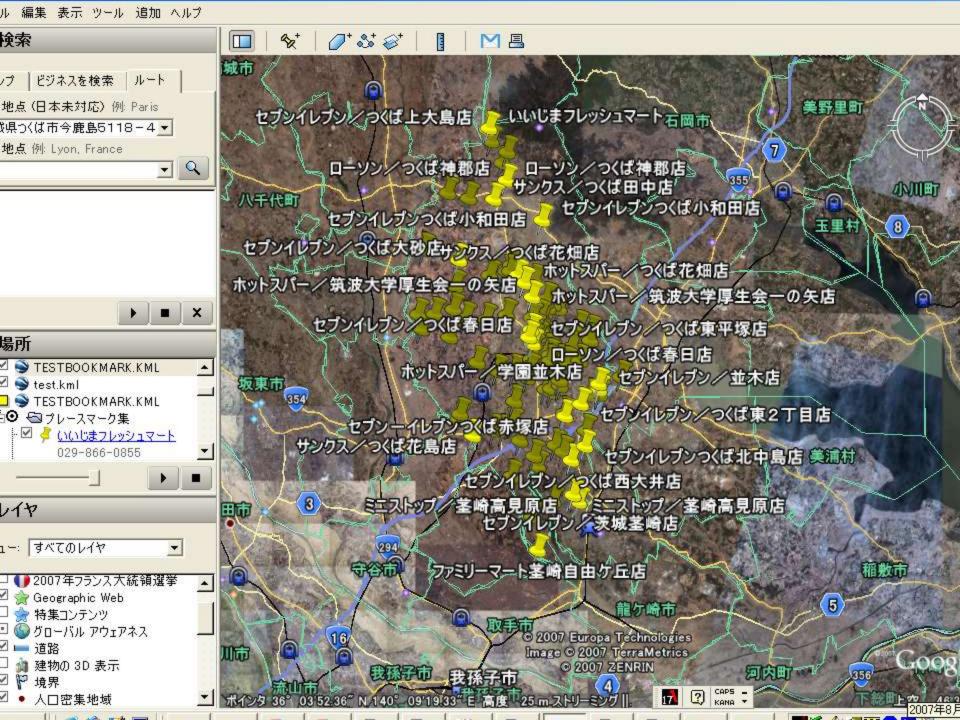
- 住所を含むデータをGoogleEarthではMappingが 可能(アドレスマッチング機能をGoogleEarthが持っ ている)
- GoogleEarthは、KMLファイルで記述することによって、プレースマークを表示できる
- よって住所データをKMLファイルに変換できれば GoogleEarth上にプレースマークをMappingできる。

※アドレスマッチング:住所を地理座標(緯度・経度)に変換する機能

変換ツール

- ●「<u>住所2KML for Excel</u>」
 - http://virtual.haru.gs/blogup/src/ge0054.xls
- (Excelのマクロの機能を使って住所データからKMLファイルを 作成)
- ※ GE Maniacs(<u>http://virtual.haru.gs/</u>)の11月20日の記事を参照。
- 「AGtoKML」
 - http://homepage2.nifty.com/mohri/AG2KML_help.htm
- (CSV形式の住所(緯度・経度)データからKMLファイルを作成)
- ※Bugsなウサギの憂鬱(http://bugsbunny.cocolognifty.com/blog/2006/11/_agtokml_8f3d.html)を参照

- 変換ツールを利用して作成したkmlファイルを GoogleEarthにドラッグ or kmlファイルをダ ブルクリック
- kmlファイルに記述された各地点を GoogleEarthで表示



今後の発展

- GPSを使用した実習
 - GPSレシーバーからのデータの転送
 - 位置データを利用した「カシミール3D」での表示
 - 地球の大きさの計測
- ArcGISを利用した本格的なGISの実習
- ・他教科や総合的な学習の時間と連携

目指す情報の授業

- リアリティのある教材
 - 現実の生活や社会とつながる



GISの活用

- 新たな発見ができる
- ソフトウェアやコンピュータの利用スキルではなく情報活用能力を身につけることができる授業
- 生徒が自分の個性を発揮できる授業
- コミュニケーション能力を育成できる授業
- 自分の情報発信に責任の持てるようになる授業
- 他教科、進路学習、学校行事などとの連携ができる

ご清聴ありがとうございました。